

PRESS RELEASE

**波の上ビーチを臨む、新たなミニマルラグジュアリーホテル
「KAINOA Naminoue Beachfront Hotel」が
2026 年 9 月10日、沖縄・那覇にグランドオープン**

CRG ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：小田 康浩、以下 CRG ホールディングス）の完全子会社であり、インバウンド向け宿泊施設運営（アパートメントホテル、民泊等）、インバウンド多言語対応サービス（観光案内、問い合わせ対応）、ビジネス通訳翻訳サービスを提供する株式会社オシエテ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：米津雅史、以下 オシエテ）は、不動産開発事業を展開する株式会社 ASAKA（本社：沖縄県那覇市、代表取締役：高野 哲朗）と協業し、「KAINOA Naminoue Beachfront Hotel」の運営受託を開始したことをお知らせします。



左：内装 右：波の上ビーチ

■海のすぐそばで過ごす、那覇の新しい滞在拠点

本施設は、那覇市内でありながら美しい海を身近に感じられる「波の上ビーチ」の目の前に位置しています。都市としての利便性と、沖縄らしいビーチリゾートの開放感の両方を楽しめるロケーションとなっています。

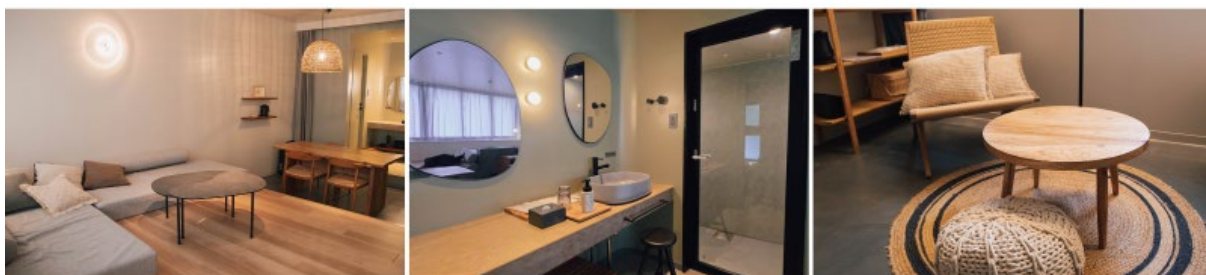
単に「泊まる場所」としてではなく、沖縄で過ごす時間そのものをより豊かにする拠点となることを目指しました。

那覇という「都市」と、沖縄らしい「海」。その2つをシームレスに楽しめることが本施設ならではの特長です。国内外から沖縄を訪れるゲストに、旅の特別な思い出に寄り添う滞在体験を提供します。

■直線美と余白が生み出す「ミニマルラグジュアリー」

内装は、直線的なデザインと落ち着いたカラーを基調としたシンプルモダンな空間に仕上げました。室内に「余白」を残し、窓の外に広がる沖縄の空や海、街の景色が主役になるような設計になっています。また、過度な装飾に頼るのではなく、必要なものを丁寧に選び抜くことで、ラグジュアリーを表現しました。

旅先だからこそ、宿泊先で過ごす時間は心地よく、リラックスできるものであってほしいという思いから、カップルや友人との旅行、家族との沖縄旅行、ひとりで過ごす時間など、さまざまな旅のスタイルを受け入れられるよう、シンプルで親しみやすいデザインを採用しています。



■アメニティにも沖縄を。「首里石鹸」など地元ブランドを採用

本施設では、内装デザインだけでなく、ゲストが実際に手に触れるアメニティにもこだわっています。その一つとして採用したのが、沖縄発のスキンケアブランド「首里石鹸」。お部屋の中にいながら沖縄という土地を感じていただけるよう、単に機能性だけで選ぶのではなく、地域とのつながりやストーリーを感じられるアイテムを取り入れました。



左：首里石鹸のアメニティ 右：「FOOD REBORN」のリネンアイテム

また、環境への配慮という観点から「FOOD REBORN」のリネンアイテムも採用しています。

※本来は廃棄されるパイナップルの葉から採取した繊維を活用したサステナブルな製品

宿泊を通じて、沖縄の地域性や価値観に触れていただくことも、本施設が大切にしている考え方の一つです。客室、アメニティ、ロケーション、それぞれを丁寧に選び抜くことで、KAINOAならではの滞在体験をつくり上げています。

■ホテル名「KAINOA」に込めた想い

「KAI」はハワイ語で「海」、「NOA」は「自由」を意味します。当ビル1階にはハワイアンテイストのカフェレストランの開業を予定しており、その世界観とも調和させながら、那覇唯一のビーチを目の前に、ハワイのような開放感の中で、ゆったりと自由な時間をお過ごしいただけるホテルを目指します。

■株式会社 ASAKA | 代表取締役 高野 哲朗 コメント

当ホテルの目の前に広がる波の上ビーチは、那覇市唯一のビーチであり、観光・交流の拠点として大きなポテンシャルを有しています。一方で、周辺には歓楽街が隣接することから、これまでその魅力を十分に活かした開発が進んでいませんでした。

私たちは、波の上ビーチにはさらなる価値と可能性があると考えています。当ホテルを新たな賑わいの起点とし、海とまち、人と人がつながる交流拠点を創出することで、波の上エリアの魅力を高め、地域全体の活性化につながるまちづくりを目指します。

■株式会社オシエテ | プロジェクトマネージャー 遠藤 譲 コメント

「KAINOA Naminoue Beachfront Hotel」の開業を迎えられることを、大変嬉しく思います。開業準備では、オーナー様が大切にされている KAINOA の世界観や想いを、実際の宿泊体験としてどう形にしていくかを考えながら、準備を進めてまいりました。予約からチェックイン、滞在中のサポート、清掃など、ゲストの皆さまが安心して快適に過ごせるよう、一つひとつの運営体制やサービスを構築してきました。

ホテルは、開業した瞬間に完成するものではないと考えています。ここから実際にゲストの皆さまをお迎えし、その声に向き合いながら、より良い滞在体験へと磨き続けていくことが私たちの役割です。

KAINOA で過ごす時間そのものが沖縄での素敵な思い出の一つとなり、「またここに泊まりたい」と思っただけのホテルへと育てていけるよう、これからも日々の運営を大切に積み重ねてまいります。

■施設概要

施設名：KAINOA Naminoue Beachfront Hotel

所在地：沖縄県那覇市若狭1丁目21番1

部屋タイプ：定員1～4名

開業：2026年9月10日

施設所有：株式会社 ASAKA

運営会社：株式会社オシエテ

宿泊予約：<https://www.airbnb.jp/rooms/1769516469876908437>

■オシエテの宿泊施設運営受託事業について

オシエテは、インテリアコーディネート（家具・家電・アメニティー等）、物件撮影、OTA（宿泊予約サイト）掲載といった開業準備から、開業後の運営までをワンストップで受託しています。本物件においても、以下の業務を一気通貫で提供します。

<オシエテの業務一覧>

- ・OTA 販売管理／複数の宿泊予約サイトにおける掲載・在庫・料金設定の一元管理
- ・レベニューマネジメント／需要変動に応じた宿泊料金の最適化による収益最大化
- ・チェックイン対応・清掃手配／現地オペレーションの代行
- ・多言語カスタマーサポート／インバウンドゲストへの問い合わせ対応

■今後の展望

オシエテは今後も、個人・法人を問わず宿泊施設運営受託事業を積極的に拡大するとともに、宿泊施設オーナー様の資産価値向上を支援し、施設の魅力を最大限に引き出す最適な運営体制の提供に努めてまいります。

．．．

【CRG グループについて】

当社グループは、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、それに伴う構造的な人手不足を解決するために、主力の人材派遣紹介事業における「ヒューマンリソース」の提供に加え、専門ノウハウを活用した「アウトソーシング」、AI/RPA といった「インフォメーションテクノロジー」、障がいをお持ちの方の就労移行支援やサテライトオフィス運営といった「障がい者雇用支援」、専門性の高い通訳・翻訳を提供する「オンライン通訳・翻訳」、近年のインバウンド需要の高まりを受けた外国人観光客向け「宿泊管理事業」などの多種多様なサービスを提供しています。今後も、全てのステークホルダーの満足度向上のために邁進してまいります。

【CRG ホールディングス株式会社 概要】

商号 CRG ホールディングス株式会社
代表 代表取締役社長 小田 康浩
本社 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング 37 階
設立 2013 年 10 月
資本金 452 百万円 ※2025 年 9 月末時点
従業員数 36 名（アルバイト、契約社員含む）2025 年 9 月末時点
事業内容 グループの経営方針策定、経営管理他
URL <https://www.crgh.co.jp/>

【株式会社オシエテ 概要】

商号 株式会社オシエテ
代表 代表取締役 米津 雅史
本社 東京都渋谷区代々木 1-25-5 BIZSMART 代々木 339
設立 2018 年 9 月
資本金 76 百万円 ※2025 年 9 月末時点
事業内容 インバウンド向け宿泊施設運営（アパートメントホテル、民泊等）、インバウンド多言語対応サービス（観光案内、問い合わせ対応）、ビジネス通訳翻訳サービス
URL <https://ociete.co.jp/>

【株式会社 ASAKA 概要】

商号 株式会社 ASAKA
代表 代表取締役 高野 哲朗
本社 沖縄県那覇市松尾 1 丁目 12 番 13 号
事業内容 デベロップメント（不動産開発）／土地建物売買／分譲マンション企画・販売
 ／商業施設の企画・運営・賃貸／不動産コンサルティング
URL <https://asakajs.com/>

【報道に関するお問い合わせ】

CRGホールディングス株式会社 広報担当
メールアドレス: media@crgh.co.jp

【施設運営・サービスに関するお問い合わせ】

株式会社オシエテ
電話番号: 03-6868-8786 メールアドレス: minpaku@ociete.jp